令和6年度 第5回研修「ヤングケアラーとは」

実施についてのアンケート

＊42件の回答

参加者　59名

１,今回の研修は参考になりましたか。（42件の回答）

はい100％　いいえ

|  |  |
| --- | --- |
| はい | 42 |
| いいえ | 0 |

２,今後の業務に繋がりますか。（42件の回答）

はい97.6%　いいえ

|  |  |
| --- | --- |
| はい | 41 |
| いいえ | 1 |

３,研修で、今後受けたい内容がありましたらご記入ください。（17件の回答）

BCPについて、ターミナル加算の話すタイミング

足のむくみや皮膚のかゆみを訴える利用者が多いので医療機関で研修してほしい。受診しても詳しい説明を受けたことがないといわれます。

精神疾患について

災害を受けた地域の実際のケアマネの取り組み

面接援助技術

医療連携のポイント

自費サービスを取り入れたケアプラン研修

フットケアー・口腔ケアー

在宅での身体拘束

障がい者の支援（知的・精神）

適切なケアマネジメント手法のシリーズ研修

家族が遠方にしかいない高齢者家族の支援方法

身寄りのない方、金銭的に余裕のない方への支援について

本人・家族の精神障害者のケアについて

メンタルケアの研修

生活困窮者やひきこもりに関する研修

看取りケアについて

４,今回の研修について、ご意見がありましたら回答ください。(19件の回答)

盲点になっていたところがあったのでとても参考になりました。 今後は広い視野を持って対応をしたいと思いますし、相談できる ところがわかったことも良かったと思います。 ありがとうございます。

ヤングケアラーの問題は公にするとネットなどで中傷の材料になる恐れもあり取り上げ方や話し合うことなども難しいと感じています。相談することも当事者は悩まれることでしょう。

昨年より支援を担当しているケースで実際に同居家族にヤングケアラーがいるお宅がありました。介護者且つキーパーソンであるはずの子が自身の生活のために、本人の年金を搾取するだけでなく、高校生である孫（子の子）が日常的にアルバイトをしている状況でした。今回の研修でも改めて感じたのですが、この様なことが身近で起きていること、「親ガチャ」と言う言葉にあるようなことが現実にあることに少し悲しい気持ちになりました。今回は研修は共感できることも多く大変有意義な研修でした。有難うございました。（白寿園　佐藤）

現在ヤングケアラーに該当しそうな家庭を担当したことははありませんが、具体的な事例を聴き勉強になりました。ありがとうございました。

ますますケアマネの責任の重さを感じました。

研修を通じて、ヤングケアラーについて深く学ぶことができ、大変勉強になりました。研修で得た知識を今後のケアマネ業務に活かしていきたいと思っております。

大変勉強になりました。ありがとうございました。

ヤングケアラーの基礎知識と支援のつなぎ方、つなげ先、また見守っていくことも大事だと思いました。

先日、行動の嗜癖（≒依存症）の研修を受講した際に、「援助を拒否する場合でも、周囲のチームワークで見守っていくだけでも大切」と言われていました。ヤングケアラーの場合も様々な理由で援助を拒否されることが考えられますが、こども若者家庭センターや包括と連携を取りながら、見守っていきたいと思います。

今回の研修を受け磐田市に若者家庭センターがあることを知った。ケアマネが実態を把握した時には包括や若者支援センターにつなげて見守ってふっといくことが必要であると感じた。

話が聞きやすくとてもよかったです。

ヤングケアラーと判断する基準の難しさを感じた。

研修申込期限が早すぎです。開催の１か月前くらいが相当だと感じます。

家族に複数問題があり、多職種での関わりが必要なケースも増えてきた。ヤングケアラーの研修は一度受けたいと思っていました。今後の業務の参考にさせていただきます。　　　（白寿園居宅　鈴木綾子）

色々な視点からの意見や支援のあり方が大切だと思いました。

事例を通じ、ヤングケラーの現状や問題点など学びました。高齢者支援をしていくなかで、その家庭の中にヤングケアラーに出会う可能性がある。その時にどのような支援が必要で、どこの機関と連携を取った方が良いのか大変勉強になりました。

ありがとうございました

正直年間20件程度しか相談のないLINEに貴重な予算をつぎ込まず、介護報酬に充ててほしいと思いました。

身近な事であるようなないようなことですが現実問題として受け止めこれから参考にしていきたいと思います。